

公共政策学科カリキュラム・ポリシー

法学部 ディプロマ ・ポリシー (DP)	コンピテンス	コンピテンシー	法学部 カリキュラム ・ポリシー (CP)	公共政策学科カリキュラム・ポリシー	公共政策学科科目〔学年〕
＜自ら学ぶ＞					
DP1	豊かな教養・ 知識に基づく 高い倫理観	社会人たるに必要な 教養と社会科学の知 識を修得し、法令遵 守の精神と高い倫理 観に基づいて、自ら の使命・役割を果た すことができる。	CP1	● 現代社会における法と行政の役割を理解し説明することができる。 ● 公共空間で活躍するための教養と社会科学の知識を有し、自らの役割を果たすことができる。 ● 日本大学の学則に従って学生生活を過ごすことができる。 ● 他者に対して、適切な言葉遣い、態度、行動をとることができる。 ● 他者の人格を尊重し、常に敬意を払って接することができる。	現代行政論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 公共政策基礎演習[1年]
DP2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	日本及び世界の法、政治、行政、経済及びジャーナリズムのしくみと、それが直面している問題を理解し、説明することができる。	CP2	● 日本及び世界の法、政治、経済、行政の仕組みと、それらが直面している問題の本質を理解し、説明することができる。	行政学Ⅰ・Ⅱ[1年] 行政組織論[2年] 地方自治論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 公共政策論[1年] 福祉政策[2年] 都市政策[2年] 地域政策[2年]

					経営情報システム論Ⅰ・Ⅱ[2年] 経営分析論[2年] 財務管理論[2年] 人材マネジメント論Ⅰ・Ⅱ[2年]
＜自ら考える＞					
DP3	論理的・批判的思考力	社会通念をふまえ、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	CP3	● 社会通念をふまえ、論理的、合理的かつ多面的な考察を通じて新たな知見を構築することができる。 ● 行政、政策形成に必要な基礎的知識を身につけ、論理的かつ批判的に評価することができる。 ● 公共政策に関する基礎的知識を身につけ、社会のために新たな知見を提供することができる。	社会保障論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 行政広報論[2年] 行政管理論[2年] 専門演習 A[2年] 公共政策基礎演習[1年]
DP4	問題発見・解決力	社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的にコミットする中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	CP4	● 現代社会を深く観察し、問題を発見し、解決策を示すことができる。 ● 公共領域に関する体系的知識を修得し、問題を構造化することができる。 ● 現代行政に関する情報を収集・分析し、得られた情報をもとに問題点を抽出することができる。 ● 公共政策の視点からみた現代社会の問題点に共通する事象を抽出・発見し、列挙することができる。	社会政策論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 行政広報論[2年] 行政管理論[2年] 専門演習 A[2年] 専門演習 C[2年] 労働事情[2年]
＜自ら道をひらく＞					

DP5	挑戦力	法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	CP5	● 社会システムに関する専門的知識を基に、より良い公共の創造に寄与することに挑戦することができる。	行政広報研究[2年] 行政管理研究[2年] 地方自治論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 専門演習 D[3年]
DP6	コミュニケーション力	多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質、感性及び価値観を理解・尊重し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。	CP6	● 多様な価値観を理解し、社会共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。 ● 現代社会の問題を理解し解決するために、国内外においてコミュニケーションがとれる語学力を身につけることができる。	行政実務演習[3年] 専門演習 B[2年]
DP7	リーダーシップ・協働力	社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとし	CP7	● 公共領域の課題の解決のために、他者と協働して問題の解決に向けて行動計画を作成し、行動することができる。 ● 公共領域における公私協働を実践するために、協働の相手との信頼関係を構築することができる。 ● 新しい公共領域に貢献する者として、幅広い教養と豊かな感性を身につけることができる。	行政広報研究[2年] 行政管理研究[2年] 地方自治論Ⅰ・Ⅱ[1年・2年] 専門演習 F[3年]

		て協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。			
DP8	省察力	他者による評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	CP8	● 多面的な意見を客観的に受け入れ、自己の活動がより良い社会、コミュニティの創造に貢献したかを振り返ることにより、社会人として自己研鑽することができる。 ● 生涯にわたって自己の向上を図る方法を説明することができる。	専門演習 E[3 年]

公共政策学科 学年（段階）ごとの目標

年次	目標
1 年次 《 1 段階 》	・ 現代社会の抱える本質的課題を発見することができる。
2 年次	・ 新しい公共空間での公共セクター、民間セクターの役割・使命を認識・理解することができる。

《 2 段階 》	
3 年次 《 3 段階 》	・ 課題解決のための政策を自ら考えることができる。また、政策の評価を することができる。
4 年次 《 4 段階 》	・ 課題の解決に向けて自らの行動計画を策定し、行動することができる。

以上